



# ゆりのき



No.26 2026年4月27日発行



JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も公式 HP で閲覧できます。

## TOPICS

- 教員インタビューリレー ● 第26回子育てサイエンス・カフェ開催レポート
- 第27回子育てサイエンス・カフェのお知らせ ● 親子読み聞かせ講座 ● 心理相談室

Interview



## 教員インタビュー リレー

Vol. 6

様々な教員の研究内容や、JWU 子育てサイエンス・ラボでの活動をご紹介します。

### Q.1 研究や専門について教えてください。

食品の包装についての研究をしています。包装には、中身を守ることはもちろん、使う人に便利さをもたらしたり、情報を伝えたりする機能があり、食品をおいしく安全に届けるためになくてはならないものです。研究室の最近のテーマは、食品ロスの削減において各機能が果たせる役割を考えることです。中身を守ることが食品ロスの削減に直結していることはイメージしやすいと思いますが、実はそれ以外の機能も食品ロスの削減に大きく貢献できる可能性を秘めているのです。

### Q.2 研究を始めたきっかけはなんですか。

もともと施設園芸を専攻しており、イチゴの養液栽培における生育不良の原因究明と回避方法の提案などに取り組んでいました。その後、ふと目にした食品包装に関する研究職員の募集に応募、採用されたのがこの道に進んだきっかけです。恐らく30年以上社会で働くことを想定し、たかだか大学院の5年くらいで専門もへたくれもないだろう、分野が変わったっていいじゃないか。と大胆な思考ができたのが大当たりでした。とはいえ、いわば素人が採用された訳ですから、当時は本当にこの分野の人材不足は深刻だったのでしょう。

### Q.3 ご自身の研究が、実際の子育てや教育、社会の中でどのように活かされることを期待しますか。

包装は食料の供給に不可欠なものです。一方で環境に負荷をかけてしまうものであることも事実です。物事には必ず良い面と悪い面があり、またどんな人にも良いところと悪いところがあります。そのような真理に触れるための教材としては、包装は身近で非常にわかりやすい類のものではないでしょうか。大学生だけでなく小中高生向けに授業をすることもありますが、食品包装の話がそういったことへの気づきにつながるとよいですね。

### Q.4 大学の教育活動で心がけていることを教えてください

学生たちに対しては、特に相談などを受ける際には私自身が包装になること、すなわち包容力をもって接することを心がけています。

### Q.5 「子育て」に関わる方々へメッセージをお願いします。

自身の子ども達が保育所や児童クラブに在籍している時には、いずれも保護者会の会長を務めました。また毎日、小学校の登校時間中に通学路に立ち、子ども達の見守りをしていたこともあります。子ども達は家庭、地域社会、学校と様々なところで育ち、また育てられていきますので、一人ひとりが「できること」を「できる場所」で「できる形」で果たしていけば良いのかなと思います。



食科学部 食科学科  
准教授 北澤 裕明

食品の化学的および物理的要因による劣化を防止し、ロス削減を達成するための包装を主体とした品質保持技術の研究を行っている。



今回は文学部英文学科 土屋 智子准教授をご紹介します。



# みんなの 避難所教室

『妊産婦・乳児救護所』の現場を見て、  
いざというときの準備を始めよう

3月14日(土)、第26回子育てサイエンス・カフェは、多くのお客様にご来校いただき本学目白キャンパスにて対面で開催いたしました。本学は発災時に、文京区指定の「妊産婦・乳児救護所」となります。そこで、今回のカフェは文京区の防災担当の協力もいただき「みんなの避難所教室」と題し、防災士の方、防災に興味関心のある赤ちゃん連れの保護者など多くの方と「防災」について考えました。企画から当日の運営に至るまで本学学生も大活躍。当日の様子をご紹介します!

## 学ぶ <文京区と本学の防災への取り組み>

### 文京区における妊産婦・乳児救護所の 取り組みについて

文京区防災危機管理課長

文京区では、妊婦や0歳児を育てる家庭が一般の避難所では生活しにくい状況を踏まえ、日本で初めて「妊産婦・乳児救護所」を設置しています。講義では、

- 妊産婦・乳児救護所で受けられる支援内容
- 開設される条件やタイミング
- 備蓄されている物資の種類や量
- 各家庭で事前に準備しておきたいこと

などについて、具体例を交えながら説明が行われました。



### 妊産婦・乳児救護所を見てみよう!

建築デザイン学科 教授 平田京子

救護所となる空間を使って、本学に設置されている「妊産婦・乳児救護所」の特徴や、実際の運営を想定した説明を行いました。また、学生が制作した動画にて救護所の開設訓練や避難所生活の様子を視聴しました。さらに、備蓄物資の実物展示や地下1階の備蓄倉庫の見学も行い、現物を見ることで、「足りないものは何か」「家庭で用意するものは何か」といった視点が自然と生まれる時間となりました。



## 交流する

今回のカフェは、0~2歳の赤ちゃんと保護者の方、防災士や防災リーダーの方など防災に関心のある方に多くご参加いただきました。後半には、グループトークの場を設け、防災士、子育て中の保護者、本学教員、文京区職員、学生など多様な立場の方が結びつく場となりました。



### <平田京子教授より>

「いざというときにあわてずに赤ちゃんを守れるようになりたい」というママパパの声にお答えすべく、赤ちゃんとママのための避難所現場と備蓄物資を事前にお見せしようと大学と考えました。文京区と一緒に見学・避難所の解説を行い、支援する側の方々、大学生ボランティアや本学教職員もまぎって、にぎやかな交流の場がもてました。日常から一緒に何かしておくことが、私たち教職員・学生にとっても楽しいひとときになることを改めて認識しました。いざというときに迷わずに大学に来て頂き、一緒に避難所ライフをつくりあげて頂けたらうれしく思います。



次回の子育てサイエンス・カフェは！



オンライン講座

参加無料

第 27 回 子育てサイエンス・カフェ

いい体験をさせなきゃ！  
そうってしまうこと、ありませんか？



<子育て中の保護者、教育・地域活動に関心のある方におすすめ！>

## こどもを育む環境と格差問題

大切なのは、非認知能力？ 居場所？ 体験？それとも…

こどもを取りまく格差の議論は時代を超えて活発です。最近では、学力格差だけでなく、非認知能力の格差、体験格差、きっかけ格差などの言葉も生まれています。さまざまな格差が指摘されるこの社会で、こどもたちを共に育てる環境をどのように形づくれるのでしょうか。今回のカフェでは、日コやナメの関係を重視する「社会教育」の立場から、居場所づくりや体験格差などのキーワードにふれつつ、こどもを育む環境づくりについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。



日本女子大学人間社会学部教育学科 准教授 荻野 亮吾

専門は社会教育。持続可能なまちづくりや居場所づくりの方法を研究。住民自身の手でまちづくりを進めてもらうため、地域ではサポート役として振る舞う。学生にはフィールドワークへの積極的な参加を勧め、学外での学びの大切さを伝える。

日時

2026年 5/30 (土)  
10:30~12:00

Zoom によるオンライン開催です。  
ご自宅からお気軽にご参加ください。  
※カメラの ON・OFF はご自由に設定ください。

申込み

QR コード または URL からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/CYr8gfu7H3>

お申込み受付後、Zoom 詳細情報をメールにてお送りいたします。

●どなたでもご参加いただけます。 ●参加費無料

▼申込み



過去の子育てサイエンス・カフェの様子は、公式ホームページからご覧いただけます。



板橋区在住・在学・在勤の方対象

板橋区立中央図書館連携事業『楽しく学ぼう！親子読み聞かせ講座』

板橋区立中央図書館・日本女子大学 連携事業

## 楽しく学ぼう！ 親子読み聞かせ講座

令和8年5月14日（木）10時30分～11時30分



お子さまの年齢に合わせた絵本の選び方や楽しみ方を学んだ後、講師のゼミ生の皆さんが、実践を交えて読み聞かせを行います。

**場所** 板橋区立中央図書館 1階 図書館ホール

**対象** 板橋区内在住・在勤・在学の方で、3歳までのお子さんと保護者の方。また、これからお母さん・お父さんになれる方。

**申込方法** 4月27日（月）午前9時～電子受付  
※定員（20組）に達し次第終了。キャンセルが生じた場合、当日受付可能です。

**持ち物** 特になし。  
※好きな絵本を持ち込んでいただいてもOKです！  
※ペーパーが置けるスペースをご用意しております。  
※本事業では記録・広報のため、写真撮影をいたします。  
予めご了承の上お申込みください。

**講師**：今田由香氏 日本女子大学 家政学部児童学科 准教授 / 博士（学術）  
大学で絵本や児童文化について教えている。絵本学会理事、日本児童文学学会理事を歴任。主な著書に『トミ・ワングラーと絵本』（玉川大学出版部）、『絵本ものがたりFIND』（共編、朝倉書店）、『ベアッシュ絵本入門』（共著、ミネルヴァ書房）がある。絵本専門士と認定絵本士の資格にも携わっている。

【問合せ】中央図書館 TEL：03-6281-0291

お子さまの年齢に合わせた絵本の選び方や楽しみ方を学びませんか。  
本学学生による読み聞かせも行います。お申込みは下の QR コードから。

講師

日本女子大学家政学部児童学科 准教授 今田 由香

日時：5月14日（木）10：30～11：30

場所：板橋区立中央図書館 1F 図書館ホール

対象：先着 20 組

板橋区内在住・在勤・在学の方で、  
3歳までのお子さんと保護者の方、また、  
これからお母さん・お父さんになれる方。

申込：板橋区のホームページよりお申込みください。

4/27（月）9：00 申込開始

※定員（20組）に達し次第終了

※記録・広報のため、写真撮影をいたします。

予めご了承の上お申込みください。



▼申込み



日本女子大学  
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

心理相談室のご案内



日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。

たとえば…

子どもの発達や成長が気になる

不登校、集団になじめない

子育ての悩み

対人関係、親子関係

気持ちを整理したい

自分の性格、将来・生き方

自分を見つめたい など

相談は完全予約制です。お電話でお申込みください。

日本女子大学 心理相談室 03-5810-1507（直通）

受付：火・木・金曜 9時～17時 / 水曜 10時～18時

土曜 9時～18時（月曜・日曜・祝祭日は閉室）



日本女子大学 心理相談室



「JWU 子育てサイエンス・ラボ」を運営する社会連携教育センターの公式 SNS アカウントです。

